

ACADEMIC VIDEO ONLINE

おすすめドキュメンタリーリンク集

海外動画62,000本が見放題 世界最大級の大学生向けビデオストリーミングサービス

現代社会の問題に切り込む、世界各地の優れたドキュメンタリー

Academic Video Onlineで、貧困、格差、差別、暴力、紛争、環境破壊、政治、医療、家族関係、近代化など、現代社会の様々な問題を鋭く論じるドキュメンタリー作品を視聴できます。そのなかから、一部をご紹介します。

学内wifiに
つないだ
スマホで
すぐ見れる



サムネを
クリック



Good Neighbours

死後10年の高齢女性が自宅で見つかったとき、ロッテルダムの市議会は二度とこのようなことが起きないようにと、高齢者の孤独を防ぐためのキャンペーンを始めました。ボランティアの二人の女性、エイダとウィルマと一緒に家々を回って孤独な老人の抱える問題を一人一人聞き取り、時には柔軟にルールを曲げて彼らの手助けをしています。エイダとウィルマの活動を通じ、共同体の持つ力、高齢者の孤独を明らかにし、メディアではあまり報じられないヨーロッパの一面を映します。(英語字幕付き、2018年)



ISIS, Tomorrow. The Lost Souls of Mosul

モスルがISISの占領下にあった3年間に、暴力と殉教の洗脳を受けて成長した子供たちの戦後を追ったドキュメンタリーです。自爆テロ犯になるように洗脳教育を受けた未成年のISIS兵たち、彼らの犠牲になった人々、彼らと戦った人々の声を通して戦争の月日をなぞり、戦後にスティグマ化され、社会から排除された元ISIS兵とその家族の運命をたどります。(英語字幕付き、2018年)

For more video, access

video.alexanderstreet.com





Unseen Enemy

疫病はかつては一部の集団での発生にとどまっていたが、21世紀には世界的パンデミックが続発しています。それは何故でしょうか。エボラ出血熱、インフルエンザ、ジカ熱の流行を分析し、人口増加、都市化、森林破壊、気候変動、移動の増加により、身近な病気の変異して新しい病気が発生し、蔓延するリスクが劇的に高まっていることを明らかにします。そしてまた、人的・経済的コスト、世界的ヒステリー、貧弱な国際協力、経済格差がいかに疫病の蔓延を促進しているのか、我々の社会がいかにパンデミックに対して無防備か、疫病が人々の行動にどのような変化を呼び起こし、疫病そのものよりも恐ろしい影響を招くのかといった事実を検証します。(英語字幕付き、2017年)



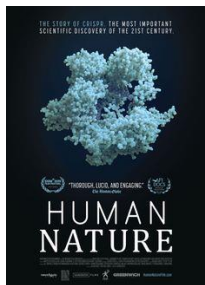
Sushi: The Global Catch

寿司は20世紀末から21世紀の初めに爆発的に世界に広まり、いまや世界の多くの人にとって日本文化を最もよく象徴するものとなりました。日本の寿司職人や大間のマグロ漁師、築地の水産業者、空輸業者、持続可能性を掲げる海外のSUSHIレストラン、オーストラリアのマグロの養殖業者など、寿司に携わる様々な人々に取材し、世界的な人気を博する寿司の文化と技術、未来、水産資源の保護といった問題を探ります。(言語・英語と日本語、2011年)



Last Harvest

中国政府の大規模治水計画「南水北調」により、慣れ親しんだ故郷の家と農地を立ち退き、伝統的な生活との決別を余儀なくされた老夫婦の旅路を追うドキュメンタリーです。晩年になって新たな土地で生活を再構築しなければならない彼らが直面した転換と混乱を通じ、伝統と近代化の衝突、古い中国の終わり新しい中国の出現を描きます。(英語字幕付き、2015年)



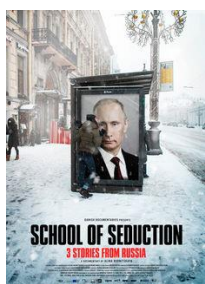
Human Nature

画期的なゲノム編集技術CRISPRにより、人間は生命の基本的な単位をかつてない精度でコントロールできるようになりました。この技術は、病気の治療、生態系の形成、そして遺伝子をデザインした人間の誕生までも可能にします。CRISPRが変える人間と自然との関係、CRISPRの人類の進化における位置づけを探ります。(言語・英語、英語字幕付き、2019年)



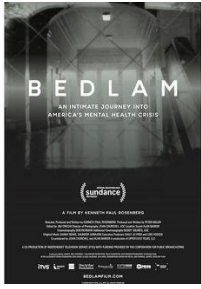
Where We Belong

両親が離別したとき、一つだった家族はバラバラになり、別々の二つの世界に分離します。二つの家を行き来して成長する幼い子供たちに取材し、彼らがどのように父と母の間で選択をし、新しい現実に適応したのか、子供たち自身の語りを通じて明らかにします。彼らは自分のライフ・ストーリー、自分自身の感情だけでなく、両親に対する洞察、家族の分離から学んだことを驚くほど成熟した方法で語ります。このドキュメンタリーでは子供自身にクローズアップしており、両親はほぼ登場しません。(英語字幕付き、2019年)



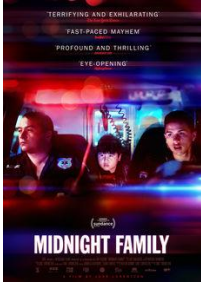
School of Seduction

社会的地位と経済的安定を求める3人の貧しい女性を通じ、家父長制が支配するロシア社会を描くドキュメンタリーです。金と地位で全てが決まる今日のロシアにおいて、貧しい女がそれらを手にするには金持ちの男と結婚するほかないと彼女たちは考えます。希望を叶えるために、彼女たちは裕福な男性を誘惑する手管を指南すると喧伝する「誘惑の学校」のコースに参加します。7年に及ぶ撮影は、ロシアにおけるジェンダーロールと「女性らしさ」の、時に悲劇的な側面をあきらかにします。(英語字幕付き、2019年)



Bedlam

患者とその家族、医療関係者に密着し、アメリカにおける重度の精神疾患のケアの危機的状況をあきらかにするドキュメンタリーです。全米でもっとも忙しい精神科緊急治療室、精神病の患者が収監されている刑務所、精神疾患をもつ人々のコミュニティやホームレスの人々を5年以上にわたって取材、撮影しました。(言語・英語、英語字幕付き、2019年)



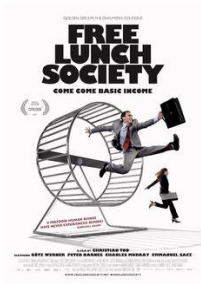
Midnight Family

900万人超の人口に対して救急車がわずか45台しか走っていないメキシコシティで、オチョア一家は裕福な人々向けの私設の救急車サービスで生計をたてています。一家は警察への賄賂や同業との競争に悩まされながら、同時に生死の境にある患者からお金を稼ぐという、倫理的に疑わしい行為に踏む込まざるをえません。(英語字幕付き、2019年)



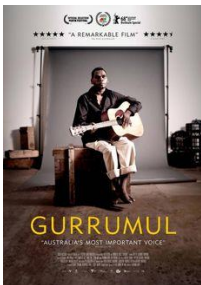
Allah In Europe

ヨーロッパにおけるイスラムの未来は、いかなるもののでしょうか。ヨーロッパで「啓蒙」されたイスラムにどのように期待できるのでしょうか、ヨーロッパ人はイスラムへの不信を克服できるのでしょうか。サラエボ、ブダペスト、ウィーン、ハンブルク、パリ、ロンドン、コペンハーゲン、スウェーデンのマルメの8つの都市を訪ね、専門家、道行く人々、イスラム教徒の男女の声に耳を傾けます。(全8篇、一部に英語字幕無し、2018年)



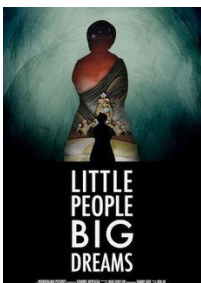
Free Lunch Society

ベーシック・インカムが今日注目を集めています。空想的とみなす人もいれば、現代の多くの問題の解決策とみなす人もいます。ベーシック・インカムの考え方、政治・科学の領域で交わされている議論の概観を説明し、その実現の可能性を模索します。(言語・英語、字幕無し、2017年)



Gurrumul

46歳で亡くなったオーストラリア先住民の盲目のミュージシャンGurrumulの死の直前に上梓されたドキュメンタリーです。Gurrumulは生まれ育ったエルコ島の風土とヨルング氏族の伝統的なコミュニティに触発された音楽を通じ、内外で称賛を受けるようになります。しかし故郷での伝統的な生活と現代のせわしない音楽シーンは全く異なる世界であり、この2つを同時に生きることは困難です。Gurrumulの心惹かれる歌声とともに、マイノリティと白人、伝統的生活と近代的資本主義の断絶を考えます。(言語・英語、英語字幕付き、2017年)



Little People Big Dreams

中国のとあるテーマパークの中にある、小人症などにより体が小さい人々の共同体「小人帝国」のドキュメンタリーです。小人帝国は体の小さな人たちが社会の差別から逃れて定住し、ともに生計をたてる共同体で、テーマパークの入場者向けのパフォーマンスをして働いています。従業員たちに取材し、彼らの人生の旅と、夢を求める姿を描くとともに、偏見のもたらす影響と現代の道徳を探ります。(英語字幕付き、2014年)



The Distant Barking of Dogs

紛争の続くウクライナ東部に住む10歳の少年、オレグの1年を描きます。オレグは小さな村に祖母と住んでいます。住人は次々と村を去りますが、2人には他にいくところがありません。戦争は終わりが見えず、暮らしは日を追うごとに困難になります。息詰まるような日々オレグの無邪気さも徐々に浸食されていきます。子供の目を通じ、戦争の子供への影響を描きます。(英語字幕付き、2017年)

[The Hunting Ground](#)

アメリカの大学キャンパスでの女学生への性的暴行の蔓延、大学による組織的隠ぺい、被害者とその家族に対する社会の残忍な仕打ち―報復やいやがらせ、反発―と、それに屈さず教育と法の正義を追求するサバイバーたち取材したドキュメンタリーです。(言語・英語、2015年)

[Herman's House](#)

「緑色に塗ったプールが欲しいな。底には大きなブラック・パンサーの絵が描いてあるんだ」―ブラックパンサー党のメンバー、ハーマン・ウォレスは極めて差別的で不当な判決により、40年近くもルイジアナ刑務所の4畳ほどの狭い独房に閉じ込められています。そんな彼は、どんな家に住みたいと考えるでしょうか？芸術家にして活動家のシュメルは、獄中のウォレスと協力し、彼の夢の家を現実建てるプロジェクトに着手します。二人に生まれた友情と、アメリカの司法の制度化された人種差別の残虐さを描くドキュメンタリーです。(言語・英語、2012年)

[White Black Boy](#)

タンザニアではアルビノの人の体や血が呪術の道具として法外な金額で売り買いされており、アルビノの殺害事件が絶えません。政府はアルビノの子供たちを保護するために、家族から離して、寄宿舎に送っています。ここで子供たちは多かれ少なかれ世の中に捨てられ、大人のいない生活をしており、小さな子供が自分よりも幼い子供の面倒を見ています。アルビノの少年シダの施設での最初の1年間を取材します。(英語字幕付き、2012年)

[By My Side](#)

「あそこでは子供の面倒をみてくれて、学校にいかせてくれて、大人になると仕事を見つけてくれる。でも家に戻ってきたの。お母さんといたいから」―ニカラグアのチュレカは中米最大のゴミ投棄場であり、その周りでは非常に貧しい人々がゴミを拾って暮らしています。チュレカの3人の若い女性の母子関係取材したドキュメンタリーです。11歳のファビオラは彼女を施設に保護しようとする慈善グループと母親との争いに巻き込まれます。ドミンガは終末期のエイズ患者で、産んですぐに別れた息子との関係の修復をしたいと思っています。19歳のマリウリは健康に問題があり、胎児を失うかもしれません。より良い生活を求めるなかで、彼女たちは母親が自分の味方なのか、あるいは予期できない敵なのかを見極めなければいけません。(英語字幕付き、2012年)

[Pray the Devil Back to Hell](#)

リベリアの内戦で深い傷を負った女性たちと、キリスト教徒とイスラムの女性たちが団結して行った平和運動についてのドキュメンタリーです。暴力、殺害、レイプ、略奪の横行する社会で、彼女たちは平和を象徴する白い服をまとい、魚市場での祈りと歌から平和活動を開始し、政治的勢力となって紛争の終結に寄与しました。活動に参加した女性たちへのインタビューと、当時の記録映像で構成されています。(英語字幕付き、2008年)

[Promises](#)

パレスチナとイスラエルに住む7人の子供たちのドキュメンタリーです。パレスチナの難民キャンプとヨルダン川西岸のイスラエル人占領地はわずか20分ほどしか離れていませんが、そこに住む子供たちは物理的、歴史的、そして感情的な境界によって隔てられ、まったく別の世界に住んでいます。この作品ではその境界線を探り、隣人と出会うために境界を超えようとする子供たちのポートレートを映し出します。(英語字幕付き、2001年)

[Poor Europe](#)

ヨーロッパでは1億1,190万人が貧困下にあり、貧しい子供、若い失業者、ワーキング・プアの人々がいたるところにいます。2010年、ヨーロッパ経済社会委員会は2020年までに2,000万人を貧困から脱出させることを目標に「ヨーロッパ2020」のプロジェクトを発足させました。貧困との闘いは成功するのでしょうか。政治家や経済の専門家と共に、イタリア、ポルトガル、アイルランドをめぐる貧困の原因を調査します。(言語・英語、2017年)

このほか、多数のドキュメンタリーを収録します。